

## 施工上のご注意

### ⚠警告

ねじ締付け・電線選定は説明書にしたがってください。  
火災になる恐れがあります。

### ⚠注意

主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。  
単3中性線欠相保護付漏電遮断器の過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。  
異常電圧が発生し電気器具を損傷する恐れがあります。

## 施工に関するご注意

### 施工に関するご注意

住宅用分電盤は相線式(1φ2W、1φ3W)・回路電圧に合わせて選んでください。

#### 回路方式

- ・単相2線式(1φ2W)100V
- ・単相3線式(1φ3W)100V/200V

お願い「取扱説明書・施工説明書」は商品に同梱していますので、ご使用前に必ずお読みください。

主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。相を間違えると異常電圧が発生します。  
盤定格電流を超える主幹ブレーカは取り付けしないでください。  
導電部の接続ねじは、適正締付けトルク範囲内で確実に締付けてください。  
導電部の接続ねじは、増締めを行ってください。

#### 導電部の接続ねじ適正締付けトルク

ねじの呼び径	締付けトルクN・m
M4	1.2~1.6
M5	1.6~2.0
M6	3.0~4.0
M8	5.5~7.0

備考:機器端子M5圧着方式の場合は2.0~2.5N・m

電線サイズは最大想定負荷電流に適合したものを使用してください。  
主幹ブレーカ、分岐ブレーカに接続する電線サイズは右表より選んでください。  
分岐ブレーカには単線2本を接続しないでください。

#### 主幹ブレーカ・分岐ブレーカ推奨電線サイズ

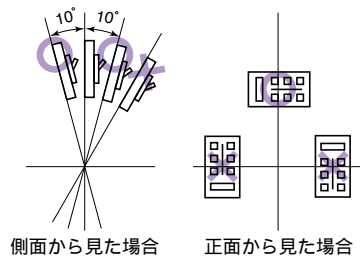
主幹・分岐ブレーカの定格電流	電線サイズ
20A	φ1.6、φ2.0
30A	φ2.6、5.5~8.0mm <sup>2</sup>
40A	8.0~14.0mm <sup>2</sup>
50A・60A	14.0~22.0mm <sup>2</sup>
75A	22.0~38.0mm <sup>2</sup>
100A	38.0mm <sup>2</sup>

圧着端子・圧着工具はJISマーク品を使用してください。  
電線に適合した圧着端子を使用してください。  
主幹ブレーカ2次側端子からの臨時配線および付属機器取付スペースからの仮配線は行わないでください。  
単3中性線欠相保護付漏電遮断器の過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。接続しないと、欠相した場合に、電気器具を保護できません。

## 設置に関するご注意

住宅用分電盤は、容易に操作・点検のできる場所に取り付けてください。  
戸棚・便所・浴室などの内部には取り付けしないでください。  
高温・多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な環境での使用は避けてください。機能を損ないます。  
屋内で使用してください。  
屋外や雨のかかる場所には使用できません。

住宅用分電盤を取り付ける壁面は、平らな面を選んでください。  
凹凸のある場所へ無理に取り付けしないでください。  
住宅用分電盤は、図中に示す範囲内で使用してください。  
住宅用分電盤の前には、障害になるようなものを置かないでください。

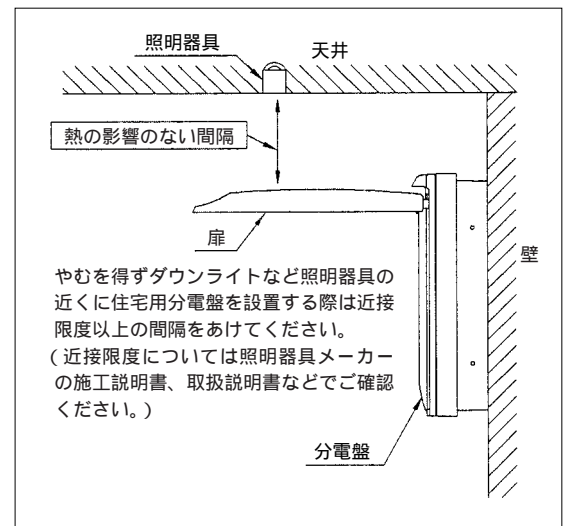
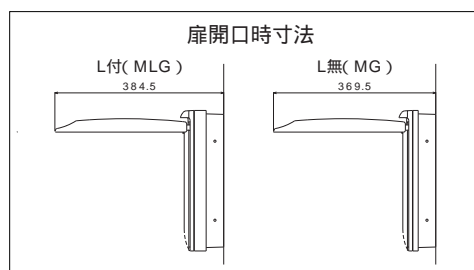
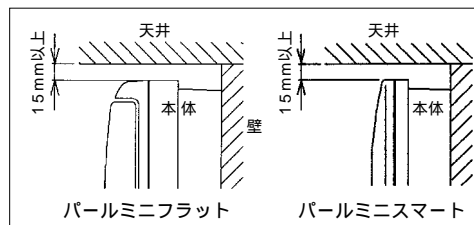


側面から見た場合 正面から見た場合

感震機能付住宅用分電盤は除く。(取付水準許容値:垂直に対し±5°以下)

## 取付位置について

カバーの取り外し・取り付けがしにくくなりますので、天井と本体の間隔が15mm以上になるような位置に取り付けてください。



やむを得ずダウンライトなど照明器具の近くに住宅用分電盤を設置する際は近接限度以上の間隔をあけてください。  
(近接限度については照明器具メーカーの施工説明書、取扱説明書などでご確認ください。)